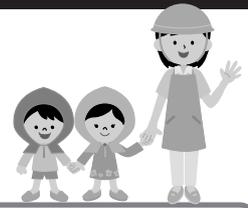


9月3日(日)は 黒潮町総合防災訓練です

備えて安心 206
～南海トラフ地震などあらゆる災害への備え～

今年度も南海トラフ地震を想定した黒潮町総合防災訓練を実施します。
町全体の防災訓練は年に1回です。ぜひこの機会に参加しましょう。
訓練参加者には、黒潮町のバリエーション豊かな缶詰をお配りします。



訓練の内容

訓練日時：9月3日(日) 午前8時30分～

大雨、洪水などの気象警報発表時や災害が予想される時は中止します。
(中止の場合は、午前7時30分にFM告知放送にて周知します)

午前8時30分頃

サイレンおよび緊急放送を行いますので、お住まいの避難場所に避難してください。

避難訓練終了後

避難終了後は、各地区で計画された訓練を実施します。
※各地区の避難場所や訓練内容など、不明な点がありましたら、
下記までお問い合わせください。



役場からのお願い

阪神・淡路大震災では、生き埋めや倒壊家屋で閉じ込められた人のうち生存して救出された方の約95%は自力または家族や隣人などに助けられました(自助・共助)。

町内の広い範囲で甚大な被害が発生し、公的な救助活動が被災地全域に行き渡らないことも想定されるため、**地域で助け合って救助活動を行うことが重要となります。**



1 地域の防災活動への参加

黒潮町内では61地区の自主防災組織があります。いざ、災害が発生した場合において自主防災組織も被災者ですから、**住民の皆さん一人ひとりの備えと協力が必要**です。

◆**そのためにはまず“避難訓練に参加しましょう”。**

年に1度の訓練です。地域での助け合いの気持ちを忘れずにできることから始めましょう。

2 家族で話し合おう

◆家族の情報をあらかじめ整理しておくことは、地震の揺れや津波の被害を受けたあとに役立ちます。生年月日、血液型、連絡先、常備薬、アレルギーなどの情報をあらかじめ整理しておきましょう。

◆発災時の連絡方法や津波避難場所、避難所をあらかじめ決めておきましょう。

地震はいつ起こるか分かりません。家族バラバラに避難しても全員が助かるために家族の防災ルールを確認しておきましょう。

津波避難場所は、地震のあとすぐに逃げる場所、避難所は避難生活を送る場所です。

○お問い合わせ

本庁 情報防災課 ☎43-2188 佐賀支所 地域住民課 ☎55-3111